

【ACKグループ 全社一斉防災訓練を実施 災害復旧にいち早く貢献】



ACKグループは8月30日、グループ各社の全国20か所以上の拠点で、全役員参加による「全社一斉防災訓練」を実施した。

今回は、午前中に、東海・東南海・南海地震の発生により、中部、近畿、四国地方が被災した場合を想定した訓練を実施。

全社一斉防災訓練を実施

災害復旧にいち早く貢献

ACKグループ

午後からは、東北地方東部を中心とした集中豪雨による局地的な被害を想定し、顧客からの支援要請への対応についても訓練した。

地震に対する訓練では、中部、近畿、四国地方の各拠点に現地災害対策本部Ⅱ写真Ⅱを設置し、「役職員の安否確認」「初動対応における役割分担の明確化」「事業復旧時期の判断」「従業員の帰宅可否の判断」「帰宅困難者への備蓄品の配布」など、初動対応の一連の流れを確認した。また、ACKグループ本社に災害対策本部を設置

し、グループ各社の災害対策委員会から報告される各種情報の対応・判断について訓練した。

豪雨被害に対する訓練では、グループの強みを活かした支援活動ができるよう、各社の連携体制を定めた「BCP顧客対応編」に沿って、被災した地域に近い拠点が中心となり、「各社の連携手順の理解、実践」をテーマに実施した。

グループは、今回の防災訓練で洗い出された課題をさらなる改善に役立て、引き続き確実な事業継続に向けて行動するとともに、顧客からの災害支援要請に応えることで、地域の災害復旧にいち早く貢献できるように行動していく。